

2020年3月16日

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
J A T O P I Xオープン	10,683 円	▲563 円 (▲5.01%)

#### ○市況動向

3月12日から13日にかけて、当ファンドのベンチマークであるTOPIXは、▲4.98%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する国内株式市場の下落によるものです。

##### ・TOPIX

3月12日 1,327.88 ポイントから13日 1,261.70 ポイントと▲4.98%の下落

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言するなか、米政権により打ち出された景気対策が市場の期待に沿うものでないと捉えられたこと
  - ② 米政権により欧州から米国への渡航を大幅に制限する方針が示されたことで、需要懸念から原油価格が大幅な続落となり、米国株式市場および欧州株式市場が急落したこと
  - ③ 上記の動きのなか、景気後退への警戒感が一段と高まり、国内株式市場全体が大幅な下落となったこと
- などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、国内株式市場の下落に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## JA TOPIXオープン

追加型投信／国内／株式／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とし、TOPIXが上昇する場合に基準価額も連動して同程度上昇することを目指していますが、その反面、TOPIXが下落する場合には基準価額も連動して同程度下落することとなります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、東証株価指数（TOPIX）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.605%（税抜0.55%）の率を乗じて得た額とします。

◆実績報酬・・・株式の貸付けを行った場合、その収益のうち49.5%（税抜45.0%）を毎計算期間の最初の6ヵ月終了日及び毎計算期間未または信託終了のときに信託財産中から支払われます。

配分：委託会社41.8%（税抜38.0%）、受託会社7.7%（税抜7.0%）

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の基準価額に0.30%を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
JA 海外株式ファンド	14,694 円	▲1,667 円 (▲10.19%)

#### ○市況動向

3月13日のMSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）が前営業日比▲20,713.10ポイント（▲9.88%）の188,923.29ポイントと下落しました。

この背景としましては、

- ① 新型コロナウイルスへの対応のため、欧州中央銀行（ECB）が発表した金融支援パッケージについて、マイナス金利の深掘りが見送られたことや量的緩和の規模が小さいことなど市場の期待に届かず、金融政策による欧州景気下支えの限界が意識されたこと。
- ② 米国市場の前日引け後にトランプ米大統領が、欧州から米国への渡航を30日間制限すると発表したことでグローバルな経済活動の停滞が懸念されたことに加え、米連邦準備理事会（FRB）による流動性供給が打ち出されたものの、財政出動を伴わない政府対応策の不十分さに失望が広がったこと。

などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、前述した市場動向を背景に、欧米株式市場が全面安の展開となり当ファンドで組入れている銘柄が大きく下落したことに起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以 上

## J A 海外株式ファンド

追加型投信／海外／株式

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■ 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主に日本を除く世界先進各国の株式を実質的な投資対象としますので、海外株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「為替変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■ 当ファンドに係る手数料等について

◆ 申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に2.20%（税抜2.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆ 換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆ 信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.65%（税抜1.50%）の率を乗じて得た額とします。

◆ 信託財産留保額（1口当り）・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.30%の率を乗じて得た額とします。

◆ 監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆ その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して3%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
JA 資産設計ファンド（成長型）	13,442 円	▲482 円（▲3.46%）

#### ○市況動向

3月13日の株式市場は、当ファンドのベンチマーク※を構成するTOPIXが前営業日比▲4.98%、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）が前営業日比▲9.88%と大幅に下落しました。

※ベンチマークは、TOPIX：35%、NOMURA－BPI総合：35%、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）：15%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）：10%、短期資産：5%のウェイトで合成。

この背景としましては、

- ① 米連邦準備制度理事会（FRB）による流動性供給が打ち出されたものの、財政出動を伴わない政府対応策の不十分さに失望が広がったこと
- ② 欧州中央銀行（ECB）が発表した金融支援パッケージにおいてマイナス金利の深掘りが見送られたことや、ラガルド ECB 総裁の国債スプレッドの安定を重視しないという趣旨の発言が失望視されたこと
- ③ トランプ米大統領が新型コロナウイルスの感染拡大を受け 2020 年東京五輪を 1 年延期すべきだとの考えを示したことにより、五輪による経済波及効果の剥落懸念が高まったこと

などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、主に当ファンドが組入れている 4 つのマザーファンドのうち、JA 日本株式マザーファンド（前営業日比▲4.97%）と JA 海外株式マザーファンド（前営業日比▲10.07%）が下落したことに起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。引き続き、原則として基本配分比率に基づき各マザーファンドの組入れを行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

以上

## J A 資産設計ファンド（成長型）

追加型投信／内外／資産複合

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主にわが国の株式、債券、日本を除く世界先進各国の株式および日本を除く世界各国の公社債を実質的な投資対象としますので、国内、海外金利の上昇による組入公社債の価格の下落や、国内、海外株価の下落による組入れ株式の価格の下落、組入公社債や組入株式の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因は、主に「株価変動リスク」、「金利変動リスク」、「為替変動リスク」や「信用リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

<通常の申込>

お申込日の翌営業日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

<確定拠出年金制度に基づく申込>

ありません。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.21%（税抜1.10%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.20%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して3%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
JA 資産設計ファンド（積極型）	13,230 円	▲676 円（▲4.86%）

#### ○市況動向

3月13日の株式市場は、当ファンドのベンチマーク※を構成するTOPIXが前営業日比▲4.98%、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）が前営業日比▲9.88%と大幅に下落しました。

※ベンチマークは、TOPIX：45%、NOMURA－BPI総合：15%、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）：25%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、当社円換算ベース）：10%、短期資産：5%のウェイトで合成。

この背景としましては、

- ① 米連邦準備制度理事会（FRB）による流動性供給が打ち出されたものの、財政出動を伴わない政府対応策の不十分さに失望が広がったこと
- ② 欧州中央銀行（ECB）が発表した金融支援パッケージにおいてマイナス金利の深掘りが見送られたことや、ラガルド ECB 総裁の国債スプレッドの安定を重視しないという趣旨の発言が失望視されたこと
- ③ トランプ米大統領が新型コロナウイルスの感染拡大を受け 2020 年東京五輪を 1 年延期すべきだとの考えを示したことにより、五輪による経済波及効果の剥落懸念が高まったこと

などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、主に当ファンドが組入れている 4 つのマザーファンドのうち、JA 日本株式マザーファンド（前営業日比▲4.97%）と JA 海外株式マザーファンド（前営業日比▲10.07%）が下落したことに起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。引き続き、原則として基本配分比率に基づき各マザーファンドの組入れを行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

以上

## J A 資産設計ファンド（積極型）

追加型投信／内外／資産複合

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主にわが国の株式、債券、日本を除く世界先進各国の株式および日本を除く世界各国の公社債を実質的な投資対象としますので、国内、海外金利の上昇による組入公社債の価格の下落や、国内、海外株価の下落による組入れ株式の価格の下落、組入公社債や組入株式の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因は、主に「株価変動リスク」、「金利変動リスク」、「為替変動リスク」や「信用リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

＜通常の申込＞

お申込日の翌営業日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

＜確定拠出年金制度に基づく申込＞

ありません。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.43%（税抜1.30%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.20%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員

2020年3月16日

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して10%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
NZAM・レバレッジ 日本株式2倍ブル	8,536円	▲1,464円 (▲14.64%)

#### ○市況動向

3月12日から13日にかけて、当ファンドの主要取引対象である日経225先物（2020年6月限）は、▲7.44%と大幅に下落しました。これは、日経225先物の対象指数である日経平均株価を構成する国内株式市場の下落によるものです。

##### ・日経平均株価

3月12日18,559.63円から13日17,431.05円と▲6.08%の下落

##### ・日経225先物（2020年6月限）

3月12日18,140円から13日16,790円と▲7.44%の下落

この背景としては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言するなか、米政権により打ち出された景気対策が市場の期待に沿うものでないと捉えられたこと
- ② 米政権により欧州から米国への渡航を大幅に制限する方針が示されたことで、需要懸念から原油価格が大幅な続落となり、米国株式市場および欧州株式市場が急落したこと
- ③ 上記の動きのなか、景気後退への警戒感が一段と高まり、国内株式市場全体が大幅な下落となったこと

などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

当ファンドは株価指数先物取引の買建玉の時価合計が投資資産財産の2倍程度となるよう買建を行います。基準価額の下落は、日経225先物の対象指数である日経平均株価を構成する国内株式市場の下落に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## NZAM・レバレッジ 日本株式2倍ブル

追加型投信／国内／株式／特殊型（ブル・ベア）

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等を投資対象とし、株価指数先物取引を主要取引対象とするため、基準価額は変動します。

したがって、投資者（受益者）の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因は、主に「株価変動リスク」です。また、当ファンドは、基準価額が日本株式市場の2倍程度となる投資成果を目指しますが、「目標とする投資成果が達成できないリスク」があります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に2.20%（税抜2.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.88%（税抜0.80%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
NZAM 日本好配当株オープン (3ヵ月決算型)【愛称：四季の便り】	7,010円	▲369円 (▲5.00%)

#### ○市況動向

3月13日の国内株式市場は、TOPIXが前営業日比▲66.18ポイント(▲4.98%)の1,261.70ポイントと下落しました。

この背景としましては、

- ① 前日の米国市場において、米連邦準備理事会（FRB）による流動性供給が打ち出されたものの、財政出動を伴わない政府対応策の不十分さに失望が広がったこと。
- ② 前日の欧州市場において、欧州中央銀行（ECB）が発表した金融支援パッケージについて、マイナス金利の深堀りが見送られたことや量的緩和の規模が小さいことなど市場の期待に届かず、金融政策による欧州景気下支えの限界が意識されたこと。
- ③ 米国トランプ大統領が新型コロナウイルスの感染拡大を受け2020年東京五輪を1年延期すべきだとの考えを示したことにより、五輪による経済波及効果の剥落懸念が高まったこと。

などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、当ファンドにて組入れている銀行業や保険業、証券業などの金融関連株や、鉱業や石油・石炭製品などの石油関連株を中心に、組入銘柄の多くが下落したことに起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## NZAM 日本好配当株オープン(3ヵ月決算型)【愛称：四季の便り】

追加型投信／国内／株式

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、主にわが国の株式を投資対象とし、運用にあたっては予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に、株価の割安度等にも着目した投資銘柄の選定を行います。国内株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.056%（税抜0.96%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額（1口当り）・・・換金時にご負担いただくものです。

解約申込受付日の基準価額に0.30%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

2020年3月16日

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
農中日経225オープン	12,077円	▲813円 (▲6.31%)

#### ○市況動向

3月12日から13日にかけて、当ファンドのベンチマークである日経平均株価は、▲6.08%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する国内株式市場の下落によるものです。

##### ・日経平均株価

3月12日 18,559.63円から13日 17,431.05円と▲6.08%の下落

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言するなか、米政権により打ち出された景気対策が市場の期待に沿うものでないと捉えられたこと
  - ② 米政権により欧州から米国への渡航を大幅に制限する方針が示されたことで、需要懸念から原油価格が大幅な続落となり、米国株式市場および欧州株式市場が急落したこと
  - ③ 上記の動きのなか、景気後退への警戒感が一段と高まり、国内株式市場全体が大幅な下落となったこと
- などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、国内株式市場の下落に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農中日経225オープン

追加型投信／国内／株式／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、主にわが国の株式を投資対象とし、日経平均株価（日経225）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行うインデックスファンドであり、日経平均株価が上昇する場合に基準価額も同程度上昇することを目指していますが、その反面、日経平均株価が下落する場合には基準価額も連動して同程度下落することとなります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、日経平均株価です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものであり、以下の合計額とします。

(1) ファンドの純資産総額に年0.583%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額。

(2) ファンドの保有する有価証券の貸付を行った場合は、その貸付による収益に49.5%（税抜45%）以内の率を乗じて得た額。

◆信託財産留保額（1口当り）・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> J-REITインデックスファンド（毎月分配型）	16,101円	▲1,883円 (▲10.47%)

#### ○市況動向

3月12日から13日にかけて、当ファンドのベンチマークである東証REIT指数（配当込み）は、▲10.50%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する東証REIT市場の下落によるものです。

##### ・東証REIT指数（配当込み）

3月12日 3,729.21ポイントから13日 3,337.78ポイントと▲10.50%の下落

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言するなか、米政権により打ち出された景気対策が市場の期待に沿うものでないと捉えられたこと
- ② 米政権により欧州から米国への渡航を大幅に制限する方針が示されたことで、需要懸念から原油価格が大幅な続落となり、米国株式市場および欧州株式市場が急落したこと
- ③ 上記の動きのなか、景気後退への警戒感が一段と高まり、特にホテル・商業セクターを中心に東証REIT市場全体が大幅な下落となったこと

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、東証REIT市場の下落に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農林中金<パートナーズ> J-REITインデックスファンド（毎月分配型）

追加型投信／国内／不動産投信／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、Jリートなど値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資者（受益者）の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因は、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」です。「価格変動リスク」にかかる指標は、東証REIT指数（配当込み）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に1.10%（税抜1.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.44%（税抜0.40%）の率を乗じて得た額。

ファンドが投資対象とする不動産投資信託証券（Jリート）は市場の需給により価格形成されるため、不動産投資信託証券の費用は表示しておりません。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

解約申込受付日の基準価額に0.10%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> J-REITインデックスファンド(年1回決算型)	8,902円	▲1,044円 (▲10.50%)

#### ○市況動向

3月12日から13日にかけて、当ファンドのベンチマークである東証REIT指数(配当込み)は、▲10.50%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する東証REIT市場の下落によるものです。

#### ・東証REIT指数(配当込み)

3月12日 3,729.21ポイントから13日 3,337.78ポイントと▲10.50%の下落

この背景としましては、

- ① WHO(世界保健機関)が新型コロナウイルスに関してパンデミック(世界的な大流行)となったと宣言するなか、米政権により打ち出された景気対策が市場の期待に沿うものでないと捉えられたこと
- ② 米政権により欧州から米国への渡航を大幅に制限する方針が示されたことで、需要懸念から原油価格が大幅な続落となり、米国株式市場および欧州株式市場が急落したこと
- ③ 上記の動きのなか、景気後退への警戒感が一段と高まり、特にホテル・商業セクターを中心に東証REIT市場全体が大幅な下落となったこと

などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、東証REIT市場の下落に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農林中金＜パートナーズ＞ J-REIT インデックスファンド（年1回決算型）

追加型投信／国内／不動産投信／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的にJリートなど値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、投資者（受益者）の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因は、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」です。「価格変動リスク」にかかる指標は、東証REIT指数（配当込み）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に1.10%（税抜1.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.44%（税抜0.40%）の率を乗じて得た額。

ファンドが実質的な投資対象とする不動産投資信託証券（Jリート）は市場の需給により価格形成されるため、不動産投資信託証券の費用は表示しておりません。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

解約申込受付日の基準価額に0.10%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

2020年3月16日

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> つみたてNISA日本株式 日経225	7,828円	▲541円 (▲6.46%)

#### ○市況動向

3月12日から13日にかけて、当ファンドのベンチマークである日経平均株価は、▲6.08%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する国内株式市場の下落によるものです。

##### ・日経平均株価

3月12日 18,559.63円から13日 17,431.05円と▲6.08%の下落

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言するなか、米政権により打ち出された景気対策が市場の期待に沿うものでないと捉えられたこと
- ② 米政権により欧州から米国への渡航を大幅に制限する方針が示されたことで、需要懸念から原油価格が大幅な続落となり、米国株式市場および欧州株式市場が急落したこと
- ③ 上記の動きのなか、景気後退への警戒感が一段と高まり、東京株式市場全体が大幅な下落となったこと

などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、国内株式市場の下落に起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農林中金 <パートナーズ> つみたてNISA日本株式 日経225

追加型投信/国内/株式/インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に株式など値動きのある証券を投資対象としますので、日本株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、日経平均株価です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものではありません。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。  
ファンドの純資産総額に年0.385%（税抜0.35%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものではありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。  
ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
農林中金〈パートナーズ〉 つみたてNISA米国株式S&P500	8,826円	▲866円(▲8.94%)

#### ○市況動向

3月12日から13日にかけて、当ファンドのベンチマークであるS & P 500指数（当社円換算ベース）は、▲9.02%と大幅に下落しました。これは、外国為替市場においては円安・ドル高となった一方で、ファンドのベンチマークを構成する米国株式市場が下落したことによるものです。

・S & P 500指数（配当無、ドル建て）

3月11日 2,741.38ポイントから12日 2,480.64ポイントと▲9.51%の下落

・東京時間のドル／円 対顧客相場※

3月12日 104.60円から13日 105.17円と+0.54%の上昇

（※対顧客直物電信売買相場）

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言するなか、米政権により打ち出された景気対策が市場の期待に沿うものでないと捉えられたこと
- ② 米政権により欧州から米国への渡航を大幅に制限する方針が示されたことで、需要懸念から原油価格が大幅な続落となったこと
- ③ 上記環境のなか、景気後退への警戒感が一段と高まり、米国株式市場が大幅に下落したことなどが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、外国為替市場においては円安・ドル高となった一方で、ファンドのベンチマークを構成する米国株式市場が下落したことに起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農林中金〈パートナーズ〉つみたてNISA米国株式S&P500

追加型投信／海外／株式／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に株式など値動きのある証券を投資対象としますので、米国株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「為替変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、S&P500指数（当社円換算ベース）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものではありません。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。  
ファンドの純資産総額に年0.495%（税抜0.45%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものではありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。  
ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> 長期厳選投資 おおぶね	10,660円	▲867円 (▲7.52%)

#### ○市況動向

3月12日の米国株式市場は、S&P500種（現地通貨ベース）が前営業日比▲260.74ポイント（▲9.51%）の2,480.64ポイントと下落しました。

この背景としましては、

- ① 新型コロナウイルスへの対応のため、欧州中央銀行（ECB）が発表した金融支援パッケージについて、マイナス金利の深掘りが見送られたことや量的緩和の規模が小さいことなど市場の期待に届かず、金融政策による欧州景気下支えの限界が意識されたこと。
- ② 米国市場の前日引け後にトランプ米大統領が、欧州から米国への渡航を30日間制限すると発表したことでグローバルな経済活動の停滞が懸念されたことに加え、米連邦準備理事会（FRB）による流動性供給が打ち出されたものの、財政出動を伴わない政府対応策の不十分さに失望が広がったこと。

などが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、前述した市場動向を背景に、米国株式市場が全面安の展開となり当ファンドで組入れている銘柄が下落したことに起因するものです。ただし、米国株価指数の下落率と対比すると下げ幅は限定的なものとなっており、短い期間ではありますが、「構造的に強靱な企業®」で構成される当ファンドの相場下落時における下落耐性が一定程度示現したものと考えています。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。引続き投資先企業が生み出す本源的企業価値に集中したポートフォリオ運営を行っていきたくと考えています。

以上

## 農林中金〈パートナーズ〉長期厳選投資 おおぶね

追加型投信／海外／株式

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に株式など値動きのある有価証券等を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、投資者（受益者）の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因は、主に「株価変動リスク」や「為替変動リスク」です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

＜通常の申込＞

お申込日の翌営業日の基準価額に2.20%（税抜2.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

＜確定拠出年金制度に基づく申込＞

ありません。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.99%（税抜0.90%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額（1口当り）・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して3%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
農林中金<パートナーズ> 日米6資産分散ファンド（資産形成コース） 【愛称：コア6 シード】	9,617円	▲617円（▲6.03%）

#### ○市況動向

3月13日の基準価額に反映される国内株式市場、国内REIT市場、米国株式市場および米国REIT市場は、大幅安となりました。下落の要因としては、以下のような点が挙げられます。

- ① 米連邦準備制度理事会（FRB）による流動性供給が打ち出されたものの、財政出動を伴わない政府対応策の不十分さに失望が広がったこと
- ② 欧州中央銀行（ECB）が発表した金融支援パッケージにおいてマイナス金利の深掘りが見送られたことや、ラガルド ECB 総裁の国債スプレッドの安定を重視しないという趣旨の発言が失望視されたこと
- ③ トランプ米大統領が新型コロナウイルスの感染拡大を受け2020年東京五輪を1年延期すべきだとの考えを示したことにより、五輪による経済波及効果の剥落懸念が高まったこと

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、主に当ファンドが組入れている6つのマザーファンドのうち、東証REITインデックス・マザーファンド（前営業日比▲10.48%）、S&P米国REITインデックス・マザーファンド（前営業日比▲9.87%）、S&P500インデックス・マザーファンド（前営業日比▲8.93%）、日経225インデックス・マザーファンド（前営業日比▲6.47%）が下落したことに起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。引き続き、原則として各マザーファンド受益証券への基本配分比率に基づき各マザーファンドの組入れを行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

以上

## 農林中金〈パートナーズ〉日米6資産分散ファンド（資産形成コース）【愛称：コア6 シード】

追加型投信／内外／資産複合

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

## 記

## ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主として日本株式、日本債券、日本上場不動産投資信託（J-REIT）、米国株式、米国債券および米国上場不動産投資信託（REIT）に実質的に分散投資を行いますので、国内、米国金利の上昇による組入債券の価格の下落や、国内、米国株価の下落による組入れ株式の価格の下落、組入債券や組入株式の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありませんので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」、「REIT（リート）の価格変動リスク」、「金利変動リスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

## ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に1.10%（税抜1.00%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.935%（税抜0.85%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

受益者の皆様へ

### 弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	3月13日の基準価額	前営業日比
農林中金〈パートナーズ〉 米国株式 S & P 5 0 0 インデックスファンド	8,446 円	▲828 円 (▲8.93%)

#### ○市況動向

3月12日から13日にかけて、当ファンドのベンチマークであるS & P 5 0 0 指数（当社円換算ベース）は、▲9.02%と大幅に下落しました。これは、外国為替市場においては円安・ドル高となった一方で、ファンドのベンチマークを構成する米国株式市場が下落したことによるものです。

・S & P 5 0 0 指数（配当無、ドル建て）

3月11日 2,741.38 ポイントから 12日 2,480.64 ポイントと▲9.51%の下落

・東京時間のドル／円 対顧客相場※

3月12日 104.60 円から 13日 105.17 円と+0.54%の上昇

(※対顧客直物電信売買相場)

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言するなか、米政権により打ち出された景気対策が市場の期待に沿うものでないと捉えられたこと
- ② 米政権により欧州から米国への渡航を大幅に制限する方針が示されたことで、需要懸念から原油価格が大幅な続落となったこと
- ③ 上記環境のなか、景気後退への警戒感が一段と高まり、米国株式市場が大幅に下落したことなどが考えられます。

#### ○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、外国為替市場においては円安・ドル高となった一方で、ファンドのベンチマークを構成する米国株式市場が下落したことに起因するものです。

#### ○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

## 農林中金〈パートナーズ〉米国株式 S & P 5 0 0 インデックスファンド

追加型投信／海外／株式／インデックス型

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認  
 いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

### 記

#### ■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて実質的に米国の株式等に実質的な投資を行うので、米国株式の下  
 落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が  
 下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあり  
 ます。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資  
 元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「為替変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、S&P500指数（当社円換算ベース）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

#### ■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料（1口当り）・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とし  
 ます。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.605%（税抜0.55%）の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（\*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（\*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することが  
 できません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示する  
 ことができません。

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第372号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員